胆振東部消防組合からのお知らせ

令和８年４月から指令センターの共同運用が始まります

現在、各消防署などで受けている119番通報について、令和８年４月より、苫小牧市の共同指令センターが一括して受け付け、各消防本部、消防署へ出動指令を行うこととなります。共同運用されることで、東胆振管内の情報が一元化され、迅速な相互応援体制が可能になるほか、最新の高機能システムの導入や業務の専従化により消防体制が強化されます。

■消防車や救急車はこれまでと変わらず、各町の消防署から出動します

共同指令センターは、消防業務のうち、出動命令などの指令業務のみを行うため、災害現場にはこれまでと変わらず、各町を管轄する消防署から出動します。そのため、現場への到着が遅くなることはありません。

■119番通報のかけ方は変わりません

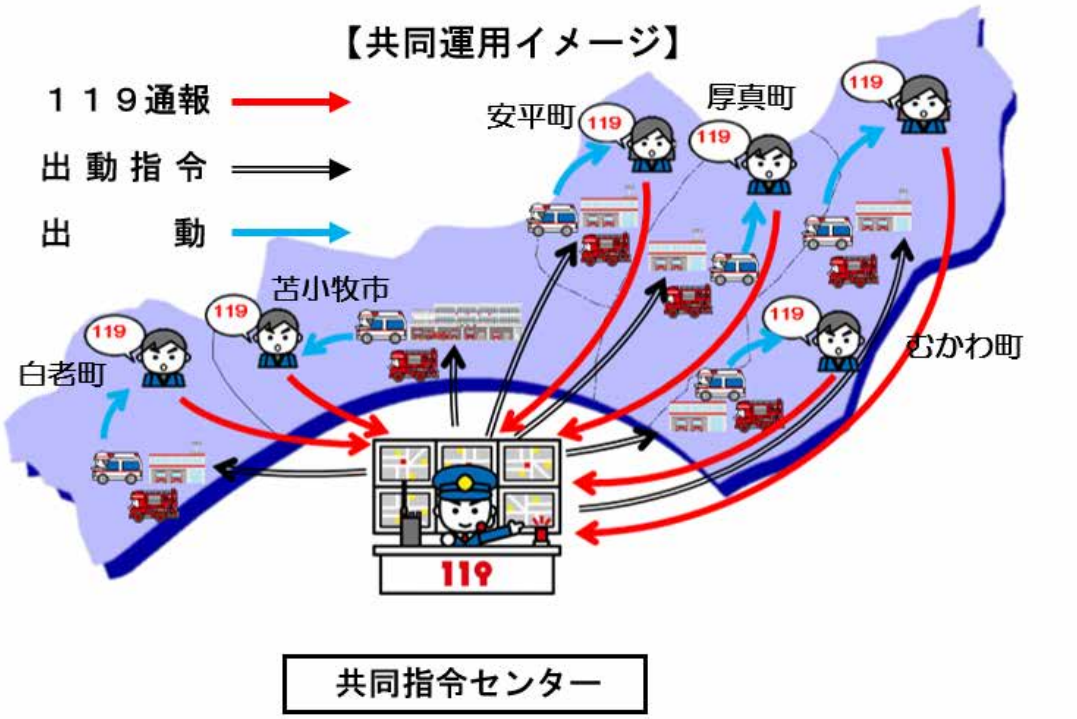
119番通報のかけ方はこれまでと変わりません。ただし、１市４町からの通報を一か所で受けるため、住所は市町村名を含めて伝えるようにしてください。また、災害現場の住所がわからないときは、指令員が情報を聞き取りながら、GPS情報や検索機能で場所を特定していきますので、周辺にある目立つ建物などを落ち着いて教えてください。

■119番通報がつながりにくくはなりません

共同指令センターの電話回線数は、共同運用後の合計着信件数を想定して設定しますので、今までより119番通報がつながりにくくなることはありません。また、受信するための指令台や指令員を増やして体制を強化します。

■通報範囲が広がりますが、場所の特定は可能です

共同指令センターには、位置情報通知システムや高性能な検索機能を備えた、最新のシステムが導入されるため、通報場所の特定が可能です。



問合せ　胆振東部消防組合消防本部防災課　☎㉖7100